

4 環境にやさしいまち

豊かな自然を引き継ぐために、
江別ができること。

江別市の豊かな自然を次代に引き継いでいけるように、再生可能エネルギーの推進やごみの資源化を推進するとともに、野幌森林公園や石狩川などの自然環境と触れ合うことにより、人と自然が共生するまちをめざします。

ここが
ポイント!

都市と自然の共生について

江別市には、石狩川や野幌森林公園、鉄道林をはじめ、都市部においても水と緑が身近に感じられる良好な環境があり、豊かな生態系にも恵まれています。これらの自然環境を守っていくため、水と緑の保全や野生生物との付き合い方についての情報提供などを行っています。さらに、市民協働による「花のある街並みづくり運動」などによる身近な緑の創出のほか、都市化の進行に伴う生活環境への影響を未然に防いだり、ごみの減量や資源リサイクル、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を推進しています。

私たちが恵まれた自然を守り、将来の世代に引き継いでいくために、環境教育を通じて市民の皆さんに環境保全に対する理解を深めていただけるよう取り組んでいます。



野幌グリーンモール



四季のみち



札幌圏初の メガソーラー発電所

江別市が市有地に初めて誘致した、民間事業者(道東電機株)が運営するメガソーラー発電所です。積雪に対応するための様々な工夫がされており、また、隣接するごみ処理施設(環境クリーンセンター)の展望フロアに上ると発電所を上から見ることもできるのも特徴で、環境教育の場としても活用されています。

再生可能エネルギーの推進

ごみの減量化をはじめとする環境対策や、低炭素型社会・省エネルギー社会への対応を、自治体、市内の大学などと連携して進めるとともに、公共施設への太陽光パネルの設置や野幌駅前広場への地中熱ヒートポンプ式ロードヒーティングの導入などに取り組んでいます。

自然の中で学ぶ環境教育

子どもの頃から環境問題に関心が持てるよう、環境教育を積極的に実施しています。夏休みに行う環境学校では、川の中に入って生き物について学ぶなど、自然を肌で感じる教育に取り組んでいます。



ごみ資源化の推進

ごみ資源化の啓発や支援を通じて、市民・事業者それぞれが、再利用・資源化に対する意識の向上に努めることで、分別作業やリサイクルなど積極的にごみの資源化を推進しています。平成26年度からは公共施設で古着・古布、小型家電の無料回収を行っています。

野幌森林公園 自然ふれあい 交流館

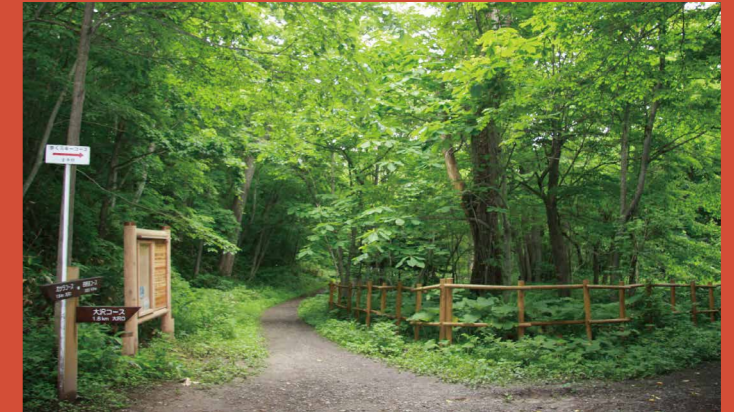
自然観察や環境学習、ハイキングなどの拠点として多くの方に利用されています。



POINT OF EBETSU

江別の一押しポイント

広大な原生林が残された 手付かずの大自然



道立自然公園 野幌森林公園

道立自然公園野幌森林公園は、札幌市・江別市・北広島市にまたがる野幌丘陵にあり、面積は2,053ha(札幌ドーム387個分)。大都市のすぐ近くで豊かな自然を満喫することができます。北海道開拓の時代、周辺の森林が伐採されていくなかで保護への取り組みが行われ、昭和27(1952)年に一部が特別天然記念物に、昭和43(1968)年には北海道百年を記念して北海道立自然公園に指定されました。公園内の8割を占める国有林は昭和の森・野幌自然休養林に指定され、カツラ、ハルニレ、ミズナラなどの樹木のほか野草やきのこ、また、クマゲラ、エゾフクロウなどの野鳥や動物、昆虫なども生息する自然の宝庫となっています。公園の北西部には道立の施設が置かれている記念施設地区があるほか、5か所の入口からは、張り巡らされた遊歩道を通して気軽に森林を楽しむことができます。

